

岩手大学農学部 食料生産環境学科・水産システム学コース 教授 募集要項

本学科では、下記募集要項により教授1名を広く公募します。選考は本学の定める手続きにより行います。

1. 職種・人員： 教授 1名
2. 所属
農学部食料生産環境学科水産システム学コース、大学院総合科学研究科（修士課程）地域創生専攻地域産業コース水産業革新プログラム、三陸水産研究センター（兼務）に所属の予定です。
3. 担当教育研究専門分野：水産資源生物学

主な担当予定科目

学 部：水産動物学、漁業資源生態学、数理漁業資源学、漁業資源管理学、漁具漁法概論、水産科学入門（分担）、水産制度学（分担）、水産生物学実験（分担）、海洋実習Ⅰ・Ⅱ（分担）ほか
大学院：水産システム学特論・演習、水圏生命科学特論・演習、とご自身の専門分野に関する特論および演習ほか
その他：教養教育科目・学部専門基礎科目の一部（分担）ほか

4. 応募資格
 - (1) 博士の学位を有する方
 - (2) 本学釜石キャンパスを拠点として、北日本（特に三陸地域）の水産対象種の生物学的特性ならびに産業利用について、資源生態学的見地から気候変動や大規模自然災害にも適応する資源利用を目指した教育・研究を展開でき、地域の関連事業者・団体等との連携を通して地域水産業振興に貢献できる方。
 - (3) (2) を実現するために、教授にふさわしい教育・研究業績を有し、今後当該分野において新規性・独創性を持つ研究を展開できること。特に、地域に果たす本学の役割を踏まえ、地域貢献の実績を有する方が望ましい。
 - (4) 本学の教授として、同僚教員と協調して農学部、大学院地域創生専攻ならびに三陸水産研究センターの運営に積極的に参画できる意欲と能力を有する方。
 - (5) 国内外の大学との教育交流・連携活動に参画する意欲と能力を有する方。
5. 任用予定日：令和5年8月1日
6. 提出書類
 - (1) 履歴書1通（写真貼付、署名、捺印のあるもの。市販の履歴書で可）

- (2) 研究業績目録1部（別紙作成要領を参照）
 - (3) 主要論文別刷10編以内（コピー可）とその和文概要（300字以内；当該分野における意義など）
 - (4) これまでの研究概要及び教育・社会実践の経験（2000字程度）
 - (5) 今後の教育・研究・社会貢献に対する抱負（2000字程度）
 - (6) 本人の研究・教育業績、人物像などについて照会できる方（2名程度）の連絡先または推薦状
 - (7) 上記内容のPDFファイルをコピーした電子媒体（DVD-Rなど）
7. 公募締切日：令和5年2月24日 17時（必着）
8. 応募書類提出先及び問い合わせ先
提出先：〒026-0001 釜石市平田3-75-1
岩手大学三陸水産研究センター
平井 俊朗
（応募封筒には「水産システム学コース教授応募書類在中」と朱書きして、簡易書留で郵送あるいは持参してください。なお応募書類は返却致しません。）
問い合わせ先：電話：0193-55-5691（三陸水産研究センター代表）、e-mail：
thiraisf@iwate-u.ac.jp
9. 選考方法
書類選考の後、研究紹介（英語）および面接（日本語）を実施して最終選考を行います。対面にて面接を実施する場合の旅費等は応募者負担となります。
10. その他
- (1) 食料生産環境学科については、学科ホームページ（<http://www.agr.iwate-u.ac.jp/18syokuryou/>）をご覧ください。
 - (2) 岩手大学はダイバーシティを推進しています。業績および資格等に関わる評価が同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。（※）
 - (3) 本学に赴任する女性教員に対して、研究費として50万円×2年間の定着支援経費を支給します。
 - (4) 産前産後休暇、育児休業及び介護休業を取得していた場合（性別不問）には、選考の過程で考慮します。

※両住まい手当制度など、女性等多様な研究者の増加・定着のための支援策を行っております。各種支援制度についてはこちら（<https://www.iwate-u.ac.jp/gender/kkshien/support.html>）、学内保育所についてはこちら（https://www.iwate-u.ac.jp/gender/wlbshien/wlb_hoikusho.html）、学内保育スペースについてはこちら（https://www.iwate-u.ac.jp/gender/parun/parun_guide.html）をご覧ください。